

# 令和3年度 第4回 調布市地域経済対策会議要旨について

開催日：令和4年2月18日（金）午後2時30分から午後4時まで

場 所：オンライン開催

出席者：商工会（副会長・各分会・アドバイザー・事務局長）

市内金融機関（多摩信用金庫）、市（副市長、行政経営部長、産業振興担当部長）

## 1. 市からの報告

○令和3年度調布市事業所経営実態調査（抜粋・速報版）〔資料1〕

○事業者支援策について

- ・令和3年度調布市プレミアム付商品券事業の実施結果〔資料2-1〕
- ・令和3年度調布市キャッシュレス決済ポイント還元事業実施報告〔資料2-2〕
- ・令和4年度の主な事業者支援策に係る当初予算案について〔資料2-3〕

【市】現状等について説明

○調布市事業所経営実態調査

- ・約7割の事業者が新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている。  
具体的には、「売上・受注の停滞」や「資金繰り」への影響が大きい。
- ・事業者支援策としては、国の支援策を活用した事業者が63.9%と最も多く（「持続化給付金」45.1%・「家賃支援給付」22.1%）、市では、「中小企業事業資金融資あっせん制度」や商工会が実施する「中小企業新型コロナウイルス感染予防対策助成金」が多く活用されている。
- ・調布市に今後期待する事業者支援策としては、「事業継続への支援」、「融資制度の充実」、「人材確保への支援」への期待が高くなっている。また、新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響の有無にかかわらず「売上・受注減少による業績悪化分の補助」への期待が最も高くなっている。

この結果を受け、「感染症の拡大防止」と「社会・経済活動の再活性化」の両立に向け、市の実情に即した適時適切な対応を図っていくことが必要。

○調布市プレミアム付商品券事業

- ・当選倍率 第1弾：2.1倍 第2弾：1.5倍
- ・当選冊数 第1弾：80,000冊 第2弾：124,000冊
- ・販売冊数 第1弾：76,012冊 第2弾：118,519冊
- ・第1弾において（第2弾は現在換金等対応中）
  - ・販売（配付）・換金状況からほぼ全ての商品券（99.2%）が使用されたと言える。
  - ・一般店と大型店の利用割合 一般店4（40.9%）：大型店6（59.1%）

○調布市キャッシュレス決済ポイント還元事業

## 事業概要

- ・総額：14億4,000万円（利用者決済額12億円，ポイント還元分2億4,000万円）
- ・利用期間：令和3年11月1日（月）～令和4年1月16日（日）  
（延長前 令和3年11月1日（月）～12月28日（火））
- ・対象店舗：市内中小規模のPay Pay加盟店  
（期間前）約1,400店 （期間後）約1,500店
- ・利用状況
  - (1) 決済総額  
約9億3,000万円
  - (2) ポイント付与総額  
約1億6,000万円  
（決済総額の約17%※1決済当たり及び1か月当たりの上限を超えた分はポイントがつかないためポイント付与率20%を下回る）
- ・利用推移  
決済額の伸長率（10月対比）
  - 11月：235%
  - 12月：286%

## ○令和4年度の主な事業者支援策に係る当初予算案について

- ・中小企業事業資金融資あっせん制度（継続）
  - 予算額 令和3年度 8,900万円
  - 令和4年度 8,900万円
  - （内訳）保証料負担金4,000万・利子補給料4,900万
- ・新型コロナウイルス感染予防対策補助金（継続）
  - 予算額 令和3年度 2,000万円（7,000万円見込み）
  - 令和4年度 2,000万円
- ・商店街街路灯等維持費助成事業（継続）
  - 予算額 令和3年度 368万円
  - 令和4年度 286万円 LED化等実績を勘案して減額
- ・商店街チャレンジ戦略支援事業（継続）
  - 予算額 令和3年度 2,332万円
  - 令和4年度 2,456万円
- ・調布市商工会補助金
  - 予算額 令和3年度 6,300万円
  - 令和4年度 6,350万円

## 2. 市内事業者の現状・意見交換

#### 【商工会副会長】

- ・現状飲食店などへの支援が多く、市内 6000 前後の事業所は支援から外れやすい業種の方が多い。業種別の傾向の中で経済対策を検討していただけたらと思っている。

#### 【商工会商業部会】

- ・コロナの影響で、事業者同士で顔を合わせる機会が減り、絆やつながりが薄れ、危機感を感じている。各会とも情報に飢えているので、情報交換や商店会同士の交流ができるようにすることが必要。
- ・事業所経営実態調査の結果、売上が停滞し・資金繰りに不安を持たれている方も多くいる。商業部会としてその不安をどう解決し、今後の事業継続にどうつなげるかを考えていかななくてはならない。
- ・キャッシュレスの推進をしていくことは必要であると考える。

#### 【商工会工業部会】

- ・半導体不足が工業分野に影響しており、飲食業ほどではないが、2~3 割減の状況。電子部品がないという点が今の大きな課題である。
- ・材料単価もここ半年で高騰しており、仕入れの問題が押し迫ってきている。

#### 【商工会サービス業部会】

- ・サービス業としては、横のつながりや会員同士のつながりについてフォローが課題だが、的を絞っていくのが難しい状況。「ちょうふ de サービス」を活用して会員情報を相互共有し、ネットワークの構築によって横のつながりが強くなることを期待する。
- ・人材の確保の点では、最近士業の成り手が減っている。国の施策（税制優遇制度）より、我々のレベルでできる身近な取組からやっていく。

#### 【商工会建設業部会】

- ・建設業もかなり悪化しており、見積も困難な状況。
- ・人材に関しては、建築関係は全体的に高齢化が進み、若い成り手もなかなかいないので育てようがない。

#### 【商工会アドバイザー】 ※商業部会副部長代弁

- ・実施したアンケート調査の結果（プレミアム付商品券事業について・キャッシュレス決済ポイント還元事業について・事業所経営実態調査の「事業継承の課題」における「商店街の活性化」）について共有。

#### 【商工会事務局】

- ・感染防止策を徹底したうえで、窓口相談に対応できる体制作りを図る。
- ・中小企業新型コロナウイルス感染予防対策助成金についても好評な状況が続いている。

#### 【市内金融機関】

- ・コロナ融資を再度使いたいという相談が多いが、場合によっては売上以上の借入となり、経営が行き詰まってしまうことが想定できるので、お断りしている現状。コロナで生活様式が変わっているため、飲食業やサービス業、卸・小売業は特に厳しい。
- ・市の 3 年間無利子融資（中小企業事業資金融資あっせん制度の拡充）を使いたいという声や、スクラッチカード事業への期待の声が大きい。

#### 【調布市】

- ・事業所経営実態調査の結果から、市に今後期待する事業者支援策として「事業継続への支援」が最も求められており、「人材の確保」と「商店街の活性化」が課題として多く挙げられている。

「感染症の拡大防止」と「社会・経済活動の再活性化」の両立に向け、市の実情に即した適時適切な対応を図っていくことが必要であると考え、二次調査の結果も踏まえ、今後の事業者支援・産業施策に活用したい。

- ・プレミアム付商品券事業・キャッシュレス決済ポイント還元事業をとおして、現在実施中のものも含めて一定程度の効果を生み出していると考え。キャッシュレスの普及・促進も含めて引き続き進めていきたい。
- ・中小企業等新型コロナウイルス感染予防対策補助事業については、より多くの事業者にご利用いただけるよう、引き続き商工会とも連携して取り組んでいく。